

4 国有林野の活用

4 国有林野の活用

(1) 国有林野の活用の適切な推進

国有林野の活用に当たっては、公益的機能の発揮等との調整を図りつつ、農林業をはじめとする地域産業の振興、住民の福祉の向上、再生可能エネルギーの利用による発電等に寄与するため、地方公共団体、地元住民等に対して国有林野の貸付けや売払い、共用林野の設定等を行っています。

平成 29 年度末現在で約 7 万 2 千 ha の貸付け等を行っており、農地や採草放牧地が約 2 割、道路、電気・通信、ダム等の公用、公共用又は公益事業用の施設用地が約 5 割を占めています。

また、東日本大震災からの復興のため、汚染土壌の仮置場等として、国有林野の無償貸付け等を引き続き行っています(111 ページ参照)。

表－１６ 国有林野の用途別貸付け等の状況 (単位：ha)

区 分	平成 29 年度	(参考) 平成 28 年度
農耕・採草放牧地	10,469 (15)	10,089 (14)
道路敷	14,422 (20)	14,345 (19)
電気・通信事業用地	17,059 (24)	16,593 (22)
ダム・堰堤敷	3,308 (5)	3,268 (4)
森林空間総合利用事業用地	8,981 (13)	8,867 (12)
その他	17,295 (24)	20,660 (28)
合 計	71,533 (100)	73,822(100)

注： 1 面積は、各年度期末現在の数値である。

2 貸付け等には、貸付け、使用許可・承認を含む。

3 () 書は、合計に占める用途別の比率(%)である。

4 計の不一致は、四捨五入による。

表－１７ 国有林野の用途別売払い状況

(単位：ha)

区 分	平成 29 年度	(参考) 平成 28 年度
所管換・所属替	38 (40)	95(66)
公用・公共事業用	52 (55)	46(32)
産業振興用	3 (3)	0 (0)
その他	2 (2)	3 (2)
計	95 (100)	144(100)

注：１ () 書は、計に占める用途別の比率(%)である。

２ 売払いには、無償の所管換・所属替・譲与を含む。

事例 共用林野を活用したバイオマス材の販売

平成 27 年に最上支署では、最上町^{もがみまち}バイオマスエネルギー利用協議会と町内で稼働する木質バイオマスボイラーの燃料供給を目的とした共用林野契約を国内で初めて締結しました。

最上支署としては中長期にわたって木質バイオマスボイラーの原料を安定的に供給していくことで、最上町のエネルギー施策を支援することとしています。平成 29 年度は、218m³のバイオマス用材を供給し、地域住民が利用する共同施設の冷暖房及び給湯システムに利用されています。

(東北森林管理局 山形森林管理署最上支署)



場 所：山形県最上郡最上町^{もがみぐん} 大森外^{おおもりほか} 5 国有林ほか

説 明：写真は共用林野内の様子（左）と木質バイオマスボイラーに搬入する様子（右）です。

(2) 公衆の保健のための活用の推進

国有林野事業では、優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」に設定し、国民に提供しています。

平成 29 年度は、延べ約 1 億 4 千万人の利用があり、利用者ニーズに即した魅力あるフィールドとして活用されるよう、地元自治体を核とした管理運営協議会と連携しつつ、環境整備や利用促進の P R に取り組んでいます。平成 29 年度はマッチング・セミナー（90 ページ参照）や森林の魅力を P R するためのフォトコンテストを開催しました。また、インバウンド※推進に向けた情報発信や森林の手入れ等の取組も進めています。

引き続き、地域の利用状況等を踏まえた上で、快適な利用環境が確保できるよう、「レクリエーションの森」の設定の見直しや、地域と連携した管理体制の充実、木道等の整備等に努めていくこととしています。

表－１８ レクリエーションの森の現況及び利用者数

レクリエーションの森の種類	箇所数	面積 (千 ha)	利用者数 (百万人)	代表的なレクリエーションの森(都道府県)
自然休養林	84	97	11	たかおさん あかさわ 高尾山(東京)、赤沢 つるぎさん (長野)、剣山(徳島)、屋久島 やくしま (鹿児島)
自然観察教育林	137	30	16	しらかみさん あんもん 白神山 たき ・暗門の滝(青森)、ブナ平 だいり (福島)、金華山 きんかざん (岐阜)
風景林	339	133	83	えりも(北海道)、芦ノ湖 あしのこ (神奈川)、嵐山 あらしやま (京都)
森林スポーツ林	39	5	3	御池 みいけ (福島)、滝越 たきごし (長野)、扇ノ仙 おうぎのせん (鳥取)
野外スポーツ地域	183	51	18	てんぐやま 天狗山(北海道)、裏磐梯デコ平 うらばんだい (福島)、向坂山 だいり (宮崎)
風致探勝林	99	19	8	ぬくみ だいら 温平 こまがたけ ・駒ヶ岳 こまがたけ (長野)、虹ノ松原 にじのまつばら (佐賀)
合 計	881	336	140	

注：１ 箇所数及び面積は平成 30 年 4 月 1 日現在の数値であり、利用者数は平成 29 年度の参考値である。

２ 計の不一致は、四捨五入による。

事例 森林景觀を活かした観光推進の取組

だいせつさん しろりべつ こ しろりべつ
大雪山国立公園に位置する然別湖を中心に広がる然別自然休養林は、「日本美しい森 お薦め国有林」として、平成 29 年度から重点的に整備を実施する 30 箇所に選定されています。然別自然休養林保護管理協議会では、協議会内に東大雪支署職員、環境省職員を含めたワーキンググループを設置し、観光推進を目的とした基盤整備を実施することとしました。

ホームページやリーフレットの作成等により情報発信の強化を図ったほか、英訳を併記した案内標識や誘導標識の設置等の整備を実施しました。標識類の英訳に当たっては、ひがしたいせつ しろおいちよう 鹿追町の国際交流員の協力を得て、海外の方にも伝わりやすい表現となるよう工夫しました。

今後は、自治体主催のイベントにブースを出展し、本事業で作成したリーフレットの配布を行うなど、普及活動に取り組むこととしています。

(北海道森林管理局 十勝西部森林管理署東大雪支署)



かとうぐん ひがしたいせつ
場 所：北海道河東郡鹿追町 東大雪国有林

説 明：写真は、然別湖と然別自然休養林（左上）とワーキンググループでの議論の様子（左下）、作成した案内板（右）です。

事例 「^{あらしやま}嵐山植林育樹の日」の取組

京都大阪森林管理事務所では、^{あらしやま}嵐山風景林において^{あらしやま ほ しょうかい}嵐山保勝会との共催で、毎年「嵐山植林育樹の日」を開催しています。昭和 57 年の取組開始以降、植樹活動等を通じて、地域と一体となって景観の保全に努めています。

平成 29 年度は、前年度に発生した台風 21 号による風倒木処理跡地にて記念植樹を実施し、地元関係者や小中学校の児童・生徒など約 100 名の手でサクラとモミジの苗木約 50 本を植樹しました。植樹後は、森林管理事務所職員が日本の森林の現状やニホンジカによる森林被害などについて説明をしながら、下山しました。

今後も植樹活動を継続するとともに、地元関係者と連携して京都の嵐山にふさわしい景観の回復に取り組むこととしています。

(近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所)



場 所：京都府京都市西京区 ^{にしきょうく}嵐山 ^{あらしやま}国有林

説 明：写真は、植樹イベントの様子（左上）と「^{と げつきょう}渡月橋と国有林」の風景（右下）です。

事例 森林資源を活用した観光推進に向けたマッチング・セミナーの実施

国有林では、レクリエーションの森等を地元自治体と連携し、貴重な観光資源として活用を進めています。

各地の森林資源の特性を活かし、関係自治体等が新たな観光事業を展開できるよう、平成 29 年 12 月に「森林資源を活用した観光推進に向けたマッチング・セミナー」を開催しました。

セミナーには、農山漁村地域で観光客を受け入れる自治体等の関係者約 300 名が参加し、新たな森林へのニーズや活用の先行事例を学んだほか、個別相談等を通じて関係者によるネットワークづくりが行われました。

今後もレクリエーションの森や地域の森林の特性を活かした観光振興に取り組むこととしています。

(林野庁)



場 所: 東京都千代田区

説 明: 写真は、マッチング・セミナーで先行事例が紹介されている様子(左)と個別相談の様子(右)です。



いしづちさん

石鎚山とアケボノツツジ

撮影者：上野 登志

(わたしの美しの森フォトコンテスト・四国森林管理局長賞)

(四国森林管理局)